



ONGAKU

～音で笑顔に～

立春を過ぎましたが、まだ寒さが残っています。でも、私たちの周りにはもう春が顔をのぞかせています。草花が地面から芽を出す時、花が咲く時、耳を澄ますとその音が聴こえてくるような気がしませんか。是非、外に出て春の音を感じ取ってみてください！

【活動報告】

「音を楽しむONGAKU会」 2022年8月20日（土）10:30~12:00

墨田区の本所地域プラザ BIGSHIP の多目的ホールにて、「～歌わない 吹かない それでも楽しい～音を楽しむ ONGAKU 会」を行いました。久しぶりのコンサートです。暑さの中、群馬県や静岡県から来ていただいた方、お子様連れの方、以前ワークショップに参加してくれた懐かしい方など、たくさんの方に聴いていただきました。ありがとうございます。

コンサートは①音を感じて ②音のアンサンブル ③自由連弾 ④みんなでアンサンブルの4部構成で行われました。

①音に耳を傾けて：会場全体に響く様々な音をじっくりと聴く

4人の出演者（池田理事長、斉藤明子副理事長、佐藤理事、横川理事）が会場の四隅から様々な音を出していきます。参加者は目を閉じて音に心を集中。不思議な感じ、面白い、癒やされる、何これ？…などなど、これまでに集めたとおきの音が、重なり合い、変化し、聴く人にいろいろなイメージを膨らませました。使った物はどれも身の周りにある物ばかり。工作用紙、空き瓶、水入り瓶、ゆで卵切り、エアコンホース、テクリン（木の枝にショットボトルの飲み口部分を10個ほど吊した物）、レギオン（大きな輪ゴムを張った発砲スチロールの箱）など。途中から4人が音を出しながらステージに集まって行くと、音の通り道が感じられました。ステージ上で音が密に重なり合って、また違った音の魅力が伝わってきました。最後の音が終わった後で音の正体が紹介されて、その意外な正体に、皆さん目を見開いて見入っていました。

②音のアンサンブル：4人による即興的な演奏

最初に使ったのは茶碗です。叩く物は菜箸。途中からピング（水入り瓶を4つ円く並べた物）やマレットの柄を机の上で弾ませる音も入りました。次は手作りのスライドホイッスル。リズムと上下に変化する音が楽しく重なりました。最後は竹筒と雨樋。演奏者も動き回りながら賑やかに音が飛び跳ねました。



茶碗のアンサンブル

③自由連弾：クニボンこと池田理事長とゲストの方とのピアノの連弾

今回は特別にチェロの独奏も付けてもらいました。チェロの独奏は飯島奏人さんで、自由連弾や色々な合奏の時に即興で音を重ねていく経験は豊富。連弾のゲストは西村崇さんと谷口侑人さんで、お二人とも自分の世界をしっかりともっていて、直ぐに独自の世界に入り込みます。クニボンは、

彼らそれぞれの持ち味を十分に生かしながら音を重ね、包み込んだりリードしたりして音の世界を広げていきます。そこには素敵な音空間が次々と現れました。

④みんなでアンサンブル：会場の皆さん全員との即興的に音を重ねて楽しむ

入場時に配られた小物を使いました。曲げられるストロー、ペットボトルのキャップ、石、スーパー紙鉄砲、UFO（缶の底の部分を切り取って2つ重ね合わせ、中にパチンコ玉を1つ挟む）です。ストローを曲げる時の音はカエルの鳴き声にそっくり。あちこちからカエルの声が聞こえて、まるで春の田んぼのようでした。石は一人2個。平べったい石を手の平に乗せて叩きます。手の平をつぼめたり反るように広げたりすると、驚くほどに音の高さが変わります。音の高さや強さの変化を利用し、クニポンの指揮に合わせて音を出します。左右半分に分かれて、それぞれが違う音を出して重ねると、ワー！楽しい！会場の全員でこそ作れる音の広がりが感じられました。使わなかった物は今回のお土産です。風飛行機の紹介や説明がクニポンからあり、「風飛行機の歌」に乗せて模範飛行をしてくださいました。「風飛行機の歌」は斉藤副理事長の作編曲、その娘さん（田中美歌さん）の作詞です。横川理事のピアノ伴奏で同理事の娘さん（横川公美さん）が爽やかに歌いあげました。これにて終了となりましたが、言葉で伝えたいことも沢山ありすぎて、かなり割愛しました。次回はワークショップコンサート（？）として、とっておきのお話をする時間も取れるような内容にしたいと考えています。どうぞお楽しみに！



スライドホイッスルの演奏

みんなでアンサンブルにて
指揮をする池田理事長



ご来場して下さった皆様から、沢山のご感想をいただきました。ありがとうございます。その一部をご紹介します。原文のままではありませんが、ご了承願います。

★先日はステキなコンサートをありがとうございました。特に冒頭の「音に耳を傾けて」は、かなり感動しました。目を閉じてということでしたが、私は更に布を頭から顔に覆い、終始聴こえる音に耳を傾けていました。不思議な聴いたことのない様な空間にすぐに魅了され、四方から漂う音の波に私はすぐに誘われてしまいました。最初は宇宙で、次に自然、最後は人工的な未来の様なイメージがしました。自由連弾では、ものすごい感性にびっくりしました。体がゆらゆら揺れて音と一体化していましたが、クニポンさんのピアノの包み込みとリード、ゲスト演奏者の素晴らしい感性の掛け合いに、もう動けなくなってしまいました。目を見開いて見えない音を見ようとするほど、信じられないような美しい演奏でした。盛りだくさんで、とても楽しかったです。販売していたマリンカンを買ってしまいました。音楽室に5本位置いたら、子ども達も大人もその音にうっとりして楽しくて嬉しい気分になると思いました。早速2学期の音楽室に「音を楽しむ」意識を盛り込ませていただきました。私もこれから子ども達と一緒に自分も「聴く心」を育てていきます。貴重な学びをありがとうございました。
(群馬県高崎市 音楽専科 塚越典子様)

★感動！しました。衝撃が大きく、一週間たって落ち着いてから感想を述べさせていただこうと、この一週間気持ちを落ち着けるのに苦労しました。何かに引き寄せられるように今回のご案内に引きつけられました。後4年で定年。この後どうしようか、好きなジャズバンドは続けていきたい、などと考えている日々でした。10：30にコンサートが開始。目を閉じて音を聴く。あっ！という衝撃と感動が押し寄せました。これか、これだったのか、という思い。中学校時代に池田先生の授業で手作り楽器の音を聴いても、ふう～ん、なんて上の空で、正直言ってあまり驚きではありませんでしたが、恥ずかしながら今、「なんて素敵な音なのか」という思いでした。池田先生のいっていた「聴く」ということはこれなのか、ということが分かったような気がします。譜面もドレミも無い、でも心にすう～っと入ってきて、喜び、楽しさ、力強さ、温度も感じました。冷たい音、温かい音、涼しい音。「聴く」ということが、こんなにも楽しく、素敵な気持ちになる、という事を実感しました。ありがとうございます！「音」を「聴く」ことを気付かせていただき、心より感謝申し上げます。

(池田理事長の教え子 中田秀光様)

★「音」…それは私たち地球上の生物にとって欠かせないもの。地球上の森羅万象には絶えず「音」が生まれ、いたるところに生活の「音」はあふれ、美しい調べは幾重にも地球を包んでいます。それらの「音」を感知・覚知して私たちの「生」は成り立っています。そこには「空気」という不可欠な媒体が存在し、その「振動」が「音」になることを私たちは知っています。(中略)「音」に形はないけれど確かに存在し、何かに影響する、まるで「生命」に似たようにさえ思えます。

ステージ上で皆さんが奏でて下さった様々な「音」は、日常のありふれた物が接触したり衝撃を受けた時に生まれていました。「こんなものから？」と想像を超える響きが生まれ、生命が宿る、「耳」で感知し「心」で覚知する。驚きや懐かしさや美しさを感じる「心」。「音」には直接「心」に働きかける大きな力があることを改めて認識しました。

私は5ヶ月前に夫を亡くしました。大病による重度の後遺症をかかえ「失語症」により、言葉でのコミュニケーションは少ない単語のみ、次第に声も出しづらくなりました。しかし「笑う」時には満面の笑みで声にはならない空気の流れが生まれ、それは家族や支えて下さる皆様と共有した「生きる喜び」でした。夫の声は私たちの心では聞こえていました。その夫の「存在」が目の前から「無」になった衝撃や淋しさ、空しさは、言葉では表現出来ないものでした。「時間が解決する」ことなく、かえって「喪失感」は深まるばかりでした。そんな中で皆さんが取り組まれている「音」の表現・研究・人へのアプローチを目の当たりにして、私は確かに心に響くものを感じました。それは死によって宇宙に溶け込んだ夫の生命も、今、空気を得て振動し「音」になって奏でられている、更には夫の生命自体も「音」を楽しんでいるのではないかと。皆さんの情熱に満ちたパフォーマンスには、一貫した生命へのリスペクトがありました。どんな人の「心」にも必ず響く音があると研究され、努力を積み重ねられたステージは、悲しみに沈んでいた私の心にも届き「音」に夫の生命も息づいていることを感じさせてくれました。ホールを出て、私は自分が少し元気になっていることに気がつきました。「やっぱり、ずっと夫と一緒にんだ」と思えたことで、もっと元気になれると確信もしました。

生きていくことは「音」と共に歩むこと。日常生活の絶え間ない「音」や、感情を直接表現する「音」、美意識に心のありようが表れる声の「音」など、私たちは様々な「音」と生きている。それがどれほど大切な物か、その特性と可能性を追求される皆さんに、私は改めて生きる希望を教えていただきました。そして「音」には生命の尊厳を触発する力があり、あらゆる差異を越えて、人は共感し、寄り添い、支え合う力が「音」には厳然と存在する事を確認させてもらえた、素晴らしいひと時でした。

(墨田区 柴田葉子様)

★ずっとあのような活動を続けられていることが素晴らしいと思います。昔から「継続は力なり」といいます。一つのことを研究し続ける事は大変なことですね。「音に耳を傾けて」の中で発砲スチロールにゴムを巻いた楽器を作った経緯の説明がありましたが、常にいい音を求めていることが分かるお話でした。もっと聞きたかったと思います。マリンカンがとても進化していて大変驚きました。以前、ワークショップで作りましたが、あの頃よりずっときれいになってきちんと作られていると思いました。参加者の中には楽器のことに興味をもった方が多かったようです。「ワークショップをやり

ますよ！」とのお話もあったので、今から楽しみにしています。ぜひまたご案内をください。よろしく
お願いします。
(音楽専科教員 河合智典様)

★本日はとても感動しました。いつまでも素敵な音楽教育への提言を続けておられることに。そして音(響)を、お仲間同士で共有する時と空間がたまらなく素敵だったこと。何よりでした。末永くこの営みが継続されますことを切にお祈り申し上げます。一言御礼まで。(作曲家 滝口亮一様)

＜ご寄付をいただきました＞

この度、損保ジャパン様より、本 NPO に10万円のご寄付をいただきました。損保ジャパン様では、社員有志の方が給与から毎月一定額を積み立て、その総額を、推薦で選んだ「社会に貢献している団体」に分配して寄付する取り組みを行っています。今年度、本 NPO が推薦され、その中から選ばれました。ありがとうございます。今後の活動資金として有効に活用させていただきます。

【今後の活動予定など】

～ご参加などについては、本会事務局までご連絡ください～

★江古田の杜：おひさまリトミック(第2木曜と第3日曜)

- ・3/9(木) 11:00～11:40
- ・3/19(日) 11:00～11:40 参加希望者多数の場合は10:00～10:40も有り
- ・4/13(木) 11:00～11:40
- ・4/16(日) 11:00～11:40 参加希望者多数の場合は10:00～10:40も有り

◆その他の予定については今後決定するものもあります。ホームページをご覧ください。

賛助会員のご紹介

2022年7月1日(新年度)以降に賛助会員になってくださった方をご紹介します。

山岸政子様 山岸譲二様 武本幸子様 深澤 泰様

奥野信太郎様 川村悦子様 柴田葉子様

ありがとうございます。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

＜ 賛助会員を募集しています！ ＞

本会の活動は殆ど全て会員の皆様の会費で賄われています。本会の事業の趣旨に賛同し、ご支援していただける方は、是非賛助会員になってください。現会員の方は、お知り合いの方などにお声をおかけください。賛助会員になってくださる方(または誘ってくださった会員の方)は、まず下記の事務局までご連絡ください。

賛助会費は、年間3000円です。よろしくお願い致します。

振込先

- | |
|---|
| ① ◆三菱UFJ銀行 向島支店 ◆口座番号：普通 0088065
◆名義名：エヌピーオウハウジンオトヲタノシムオンガクノカイ |
| ② ◆ゆうちょ銀行 ◆口座記号：10090 口座番号：18396671
◆加入者名：トクヒ)オトヲタノシムオンガクノカイ |

NPO法人 「音」を「楽」しむONGAKUの会

〒131-0032 東京都墨田区東向島2-34-12 サニーフラット202号

PHONE & FAX：03-3610-2292

E-mail otoiawase@oto.or.jp

URL：http://www.oto.or.jp/

facebook：https://www.facebook.com/ototano/